

第 4 3 1 回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

1 開催日時 2026年9月14日(月)

2 開催場所 テレビ新潟本社

3 委員総数 8人 出席委員 8人

出席委員

小原 清文 委員長	本宮 宏美 委員
迫 一成 委員	小山 厚子 委員
杉原 名穂子 委員	浜田 泰宏 委員
松山 悦子 委員	満留 大介 委員

会社側出席者

代表取締役社長	正力 源一郎
副社長・コンテンツ本部長	小松 良徳
コンテンツ戦略局長兼番組審議会事務局長	中川 幹子
報道制作局長	竹野 和治
報道制作局次長 番組プロデューサー	鈴木 英門
事務局	田中 泰輔 坂上 寿史

4 議 題

1) 番組合評

「長岡花火2026 名物花火にも負けない

ビジュいいグルメもどどんと魅せます！！」

2026年8月16日（日） 16：25～17：20

2) 会社報告

- ① 7月・8月の視聴者の意見 （報告：番組審議会事務局）
- ② 講じた措置、議事概要の公表 （報告：番組審議会事務局）
- ③ 訂正放送、取り消し放送の有無 （報告：番組審議会事務局）

3) その他

5 審議の概要

会社側からは「長岡花火を題材にした番組は様々な形や内容で毎年放送しているが、どのような番組にするかということは毎年の課題になっている」、「花火自体の魅力や美しさを伝えるだけでなく、番組をご覧になった方に、長岡に行ってみようと思ってもらえる番組作りを行った」、「花火に関して、スケールの大きさや魅力を伝えるため、フェニックス花火の一部を除いて、固定カメラのワンカメで広いサイズの画角で構成した」という趣旨の説明があった。

(委員の意見)

- 花火だけでなく、ビジュいいグルメという切り口を入れたことで他社との差別化ができていた。
- 番組ラストの酒蔵インタビューコメントは示唆に富んでいたが、具体例を混ぜると、より一層番組のメッセージが伝わるといった。
- フェニックス花火のシーンでヘリコプターからの映像があり、下から見る花火とは異なり、立体的に見せることができていてとても新鮮だった。上空撮影に慣れているテレビ局ならではの映像だと思った。
- SNSや配信で長岡花火の映像をいくつか見ていたが、あらためてテレビ番組で花火シーンをみると、右上のテロップが邪魔に感じた。
- 花火シーンではナレーションがなく、じっくりと花火を楽しめた。番組制作側で、花火を大切にしているという姿勢を感じた。
- 横澤夏子さんらしくないナレーションが多く、準備された台本をそのまま読んでいたような内容になっていて、もったいないと感じた。
- 全体的にテロップのデザインがうるさく感じた。長岡花火の上質さ、ブランドとかけ離れていた。
- 「ビジュいい」のタイトルは昨年流行した言葉で、すでに古いので、なくてもよかった。
- アナウンサーのグルメリポートは見飽きているので、観客や地元の方を中心とした取材・構成も良いと思った。
- 若いアナウンサーの明るいトークは、花火や祭りの盛り上げとしては評価できるが、視聴者から少し外れているとも感じた。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

7月……160件

8月……167件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会の開催日(2026年7月27日)から、
昨日(2026年9月13日)まで総務省に届け出た
訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回第430回審議会では、

「石田健×ニイガタ老舗 ポテンシャル」について審議を行い、
委員の意見は議事概要にて記者、制作スタッフ社内に周知し
ました。

2) 番組審議会議事録を全社員、スタッフに共有しました。

8 今回の第431回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支局の県内事業所に 議事概要の書面を準備します。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) T e N Yホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・第430回番組審議会議事録
- ・7月・8月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・BPO報告(NO. 291・292)

以上